

女性委員会の活動

「南三陸町への支援活動を紹介」

平成 23 年の東日本大震災では、水戸市においても家屋の損傷など甚大な被害を受けた。早速、全国の老人クラブの仲間から、多くの物資や義援金をいただいた。女性委員会において、何か自分たちでできることはないかと何度も話し合った。女性ならではできないこと。

そのような中、緑岡地区の女性委員会が、水戸市に避難している被災者の方々にいち早く物資支援を行った。そのことを受け、連合会の女性委員会として、各地区や単位クラブの女性会員に呼びかけ、まだ避難所生活を続けている仲間に、手づくりの小物を贈ろうということになった。

震災の翌年、連合会として南三陸町老人クラブ連合会を訪ねることにした。南三陸町老人クラブ連合会は震災当日、芸能発表大会を開催しており、約半数の仲間が犠牲となり、生き残った仲間は、避難所等に身を寄せるなど活動どころではない状態にあるという。

日も早く、仲間と一緒に活動ができる日がくるようにと願いを込め約 60 人の女性会員が集まって、デコパージュ石鹸を作り贈ろうということになった。

訪問日、南三陸町老人クラブ連合会の会長さん、副会長さんの 3 名が、クラブの事務所が入居するプレハブの、家で私たちの訪問を迎えてくださり、とても喜んでくださった。

お互いを励まし合いながら握手をして別れたことが今でも忘れられない。このことが大きなきっかけになり、女性委員の意識が変わっていった。

翌年は、クリスマスの時期に、手編みのマフラー等を贈ることになり、協力してくれる女性会員も 90 名となった。

そして今年は、ひざ掛けを贈ろうと呼びかけた。この活動が各地区にも浸透していき、地区ごとに手編みの座布団や布草履など沢山の品が集まった。南三陸町への支援も 3 年目、女性委員会の結束は更に強くなり、活気ある活動へとつながっていることを実感している。



安心して活動するための保険のご紹介

クラブ会長・担当世話人への助っ人登場！



傷害保険

自分自身のための保険です！

- ◆団体割引が適用されています。
- ◆ケガで 1 日だけの入院・通院でも補償
- ◆高齢者クラブ会員なら、年齢制限もなくだれでも加入できます。

- 補償範囲：総合型と活動型の 2 種類
 - ＜①総合型＞ 1 人年額掛金 3,500 円、5,000 円、10,000 円
 - *活動中はもちろん日常生活全般のケガも補償
 - *海外旅行中のケガも補償
 - ＜②活動型＞ 1 人年額掛金 500 円、1,000 円、2,000 円
 - *クラブ活動中のケガとその往復途上（通常の通路）のケガを補償
 - *活動中の飲食を原因とする細菌性食中毒（O-157 等の病原性大腸菌）を補償
- クラブを通して 1 人でも 1 年中いつでも加入できます。

賠償責任保険

相手の損害を補償する保険です！

これまで クラブ活動中のけがや事故の際、代表者の方が手当や救済、仲裁など 多大な苦労を重ねています。また、近年、慰謝料を含め賠償金額が多額となり個人では負担しきれなくなりました。

そこで登場したのが、相手の損害を補償する保険です！

- 補償範囲 クラブ活動中のみ（往復途上を含む）
 - 掛金 1 人年間掛金 100 円（1 クラブ全員一括加入）
- クラブ運営には欠かせない保険です。是非ご検討をねがいます。



誰かをケガさせてしまった！



誰かのモノを壊してしまった！

「高壮だより水戸」投稿規程

- 「高壮だより水戸」は年 2 回、6 月と 1 月に発行。
- 高壮クラブ（会員の投稿）約 300 字以内
- 文芸（俳句・短歌・川柳）1 人 2 句または 2 首以内
- 種別・住所・氏名・電話番号・所属クラブをハガキに記してご投稿ください。
- ブロック便り約 500 字以内
- 締切日は特に設けておりません。いつでも受け付けております。ただし、事務局から単位クラブ会長宛に、原稿募集のご案内をする場合は、締切日をお守り下さい。紙面に限りがありますので、掲載の可否は広報委員会が決めさせていただきます。字数を超えたものは一部割愛させていただきます。また、文章は一部修正する場合があります。原稿・写真は原則返却できません。
- 提出先 事務局まで

追悼

山川庫前会長

山川庫様を偲んで
茨城県老人クラブ連合会
副会長 伊藤 達也

山川様との出会いは、初めて県老連の役員会議に出席した時、隣席だった事から始まり、自己紹介の後、会議の質疑応答に積極的な適宜適切な発言で臨む姿が、重鎮的存在として強烈に印象づけられ、脳裏に焼きつく動機となりました。

帰路が同方向の縁で、車でお送りする10数分の間交わした会話が、お互いに印象的だったことから会議のついで、車中の会話、時には自宅付近でお茶を飲みながら交わす頻度が多くなり、私の故事来歴を聞かれるままにお話し、山川様は地方で教鞭をとった苦勞話から、今迄の四方山話を巧みに語る話術に引き込まれ楽しみのひとときでした。

お互いに評価基準は別として、これ迄歩んだ人生の達成感、周囲の人々に恵まれたことに感謝しつつ話が尽き無い3年余でしたが、私にとって人生最高の充実した出会いの日々でした。
2年程経過した有る日、突然水

戸市高齢者クラブ連合会リーダー研修会の席で、1時間程話をしてくれと要請され浅学非才の私に何故かと思いつつも、お引受けする事になりました。

「リーダーの役割について」と題してお話をさせて頂きました。不慣れな私の話ですが、場内に私語も無く皆さん真剣に聞いて下さり、お話しなごら感じたのは、生涯、人材育成、老人クラブ連合会の在り方に力を注いだ山川様の日頃の指導が行き届いていた様子が伺えたこと、又役員の皆様の協力体制がしっかり出来ているこ



クラブ大会の冒頭に行った追悼式
右下 追悼の詞を述べる清水会長

と、会員の方々が如何にレベルの高い良い指導者に恵まれ、結束力の強い良いクラブであることなどを気づかされ、この機会を頂いた私にとって生涯忘れ得ない刺激と感銘を受けた思い出の頁となりました。

そして何より、山川様が引退の際に私に残した言葉、「貴方と10年前に会ったならば...」緒に仕事をしたかったの一言が私の宝です。貴方のお陰でまた1人育っています。

山川様の永久の安らぎを祈ってやみません。

温にして、威あつて
元高齢福祉課長
山内 基弘

私が平成14年に高齢福祉課に課長として着任した折、しばらくして山川様が高齢者クラブ連合会会長に就任されました。当時、組織の再編であったり単位クラブの育成であったりと行政課題の山積に加え、ねんりんピック茨城大会の開催など大きな事業が続いていました。その中で山川様はまさに「温にして威、威あつて猛ならず」がこくりーダーシップを発揮され、高齢者クラブを牽引されました。また、担当課長の私の席にも何れとなくお訪ねいただき、若輩未熟の私にもずい分とお力添えを賜りました。山川様の豊富な体験談など拝聴のうち課題解決の糸口が見えたこともたびたびありました。

そののち私は高齢福祉課から離れたましたが、山川様のお人柄を忘れ難く恩師をお招きするような気持ちで「忘年会でもいかがでしょうか」とお声掛けしたところ快く承諾され、それから「またやりましょう」に甘

えて季節のおりふしにずい分お付き合いただきました。山川様の聞き上手、話し上手のうち中身の詰まった心地よいひとときが過ぎていきます。歪を重ねるうちに、ふるさと山形の想い出、若かりし頃あんなことこんなことを破顔一笑して懐かしように目を細めお姿を昨日のように思い出します。

「またいつか」と言い交わしていたのに、体調がすぐれないとお聞きしてお誘いを遠慮するうち、いつかいつかがもう叶わなくなりました。ご縁がなかったはずのこの水戸の地にふわりとおひてきて、めぐり合った私たちの心を温めほくしていただき、今になってこそお話ししたいことがあります。本当に心残りではありません。

頂戴した昨年の賀状には、茶袋と笑顔をのけるまの春ご自作の句と、ひ孫のお子さんとご夫妻が公園のブランコをなされる写真が添えられています。秋好日、陽だまりのなか屈託のない笑い声が耳に届くようです。みんない笑顔です。山川様の素晴らしいご生涯に心から尊敬の意を表します。ありがとうございました。

山川会長の笑顔
茨城県老人クラブ連合会
事務局 岡崎 賢一

山川会長には、平成15年に水戸市高齢者クラブ連合会会長に就任されて以来、県老連役員として、11年間お世話になりました。山川会長との思い出をいろいろと考えてみましたが、沢山ありすぎて、何を皆様にお伝えしたらよいか本当に悩みました。

山川 庫 顧問経歴

- 昭和 2 年 9 月 5 日 山形県に生まれる
- 昭和 23 年 3 月 山形大学教育学部卒業
- 昭和 23 年 4 月 山形県教育公務員として小学校教諭
- 昭和 48 年 12 月 社会福祉法人キンダー伸成会理事
- 昭和 60 年 3 月 山形県公立小学校校長退職
- 昭和 60 年 6 月 社会福祉法人山形県精神薄弱者育成会(手をつなぐ親の会)事務局長
- 昭和 62 年 4 月 同 常務理事
- 平成 2 年 4 月 同 常務理事兼栄光園園長
- 平成 2 年 10 月 国体山形県大会理事を最後に退任
- 平成 4 年 10 月 山形県より水戸市へ転居
- 平成 6 年 4 月 高齢者クラブ大塚音楽会入会
- 平成 7 年 4 月 水戸市上中妻地区 高齢者クラブ連合会会長
- 平成 14 年 4 月 水戸市高齢者クラブ連合会副会長
- 平成 15 年 5 月 同 会長
- 平成 16 年 4 月 茨城県老人クラブ連合会評議員
- 平成 18 年 4 月 同 理事
- 平成 21 年 4 月 同 副会長
- 平成 26 年 7 月 水戸市高齢者クラブ連合会顧問

でも、いつも思い浮かんでくるのは山川会長の笑顔でした。山川会長は、こんな私の仕事ぶりでも「よくできた」と笑顔で声をかけてくださり握手をしてくれました。それは、出会ったころからずっと変わっていませんでした。

いつしか、山川会長に褒めてもらいたい自分がいたのかもしれない。そして、山川会長の言葉が、自分の自信につな

がりました。山川会長、ほんとうにありがとうございました。今でも、山川会長のあたたかな声が聞こえてくるようです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

山川会長、ほんとうにありがとうございました。今でも、山川会長のあたたかな声が聞こえてくるようです。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。



スポーツ大会表彰式



50周年記念誌を市に贈呈



感謝状授与のため山川氏宅を訪ねた
高橋水戸市長(左端)と喜びのご家族



総会で議長を務める山川氏

平成 26 年度 全国老人 クラブ連合会 活動賞 受賞

「賞」が紡ぐ 会員の絆

梅が丘北長寿会
桑名 義教



平成 26 年度全老連活動賞「仲間づくり活動部門」の受賞の栄に浴し、会員一同、感謝と喜びの気持ちで一杯である。

折しも、梅が丘地区高連 50 周年、北長寿会設立 15 周年の年に当り、二重の喜びを味わう事が出来、活動への意気込みも増した。

もとより、これといった特色のある活動をしているわけではないが、年々会員が減少しており、会員増を図ることが緊急の課題と捉え、①会としてだけでなく、会員一人ひとりが該当者に声をかけ、②会の行事に体験的に参加して貰う、③役員間で情報を共有する、等を実践して、年間

感動と実行 浜田竹クラブ

郡司 茂



平成 26 年度全老連活動賞「ボランティア活動部門」を受賞した。

また、9 月 13 日の朝日新聞夕刊に老人クラブ 100 万人会員増強運動の見出しで、当クラブの「安心 安全見守り隊」活動が報ぜられた。更に、クラブ発足時からの幹部の方から 1 万円の寄付を頂いた。会員一同、これまでの活動を評価されたことに感慨無量。

今後の展望としては、第 1 に 9 月 15 日に新たに立ち上げた「安全見守りお元氣隊」の活動を会員丸となって取り組んでいく。

現在、会員 2 人ずつ 6 班編成とし、クラブの精鋭 12 名でひとり暮らし高齢者の動静把握と生活状況の確認をしている。

第 2 は、老人クラブ 100 万

で 17 名増の 60 名の会員で活動している。

受賞の喜びは、地区高連の会報で、関係者にお知らせするとともに会員相互の絆を深め、会の活性化をより図ってきたい。

平成 26 年度 茨城県老人 クラブ大会 受賞者



前列左から江幡氏、羽田氏、郡司氏、
後列左から海老澤氏、桑名(義)氏

知事感謝状 羽田 和
(市高連前副会長)

桑名 賢
(堀原地区高連会長)

役員功労賞 江幡 弘
(柳河地区高連会長)

海老澤 喜七
(中河内千歳会会長)

人会員増強運動を受けて、住みよい浜田を作る会の機関紙へクラブの紹介記事を掲載してもらい、PR 活動を拡充していくこと。

竹隈市民センターの定期講座には 24 の講座があり、受講者が 434 人いる。市民センターの協力を得て、受講者に対する加入促進にも力をいれていきたいと考えている。

今後も、地域団体と連携を密に図りながら、仲間の「輪」づくりを広げていきたいと思う。

編集後記

市高連は昨年の創立 50 周年を経て新たな陣容でスタート。広報委員会もメンバーを新しました。

本号では、クラブ大会、芸能発表大会、作品展、スポーツ大会などの行事のほか、女性委員会の南三陸町老人クラブへの支援活動や日頃の活動に大切な賠償保険を盛り上げました。更に、11 年にわたって連合会を牽引し 5 月に清水会長に引き継いだ後、9 月に逝去された山川庫前会長の追悼を特集しました。なお市高連の組織、活動、高壮だより、入会案内などの詳細はホームページをご覧ください。

本号冒頭の新年の挨拶にもあるように、高齢化が加速する中、クラブの今後について真剣に考え、行動する必要がある。各クラブの活動状況をいち早く的確に把握し会員に伝達することにより、人ひとりが自立した高齢者としての自助努力を怠らず、地域との絆に心掛け、地域社会を支える担い手の一端となるよう、更なる活性化に進みたいものです。

(岩本)

広報委員会

副会長 酒出卓治
委員長 岩本多實
副委員長 大里公雄
委員 羽田和一
委員 大内静江
委員 岡部壽子

スポンサー各位への御礼

このたびは、水戸市高齢者クラブ連合会広報紙「高壮だより水戸」の発行にご協賛いただきましてありがとうございました。

高齢者クラブは、高齢者の①生きがいや健康づくり ②地域奉仕や友愛活動 ③子どもとのふれあい活動などの社会活動を通して明るい長寿社会づくりに努めることを活動目的としております。

広報紙は、会員相互の親睦・交流のほか、地域の皆様に活動をご理解いただき、新規加入をお願いする目的も持っております。

これからもご支援、ご理解の程よろしくお願いいたします。

水戸市高齢者クラブ連合会
会長 清水 昭郎

わたしたちは水戸市高齢者クラブ連合会の活動を応援しています